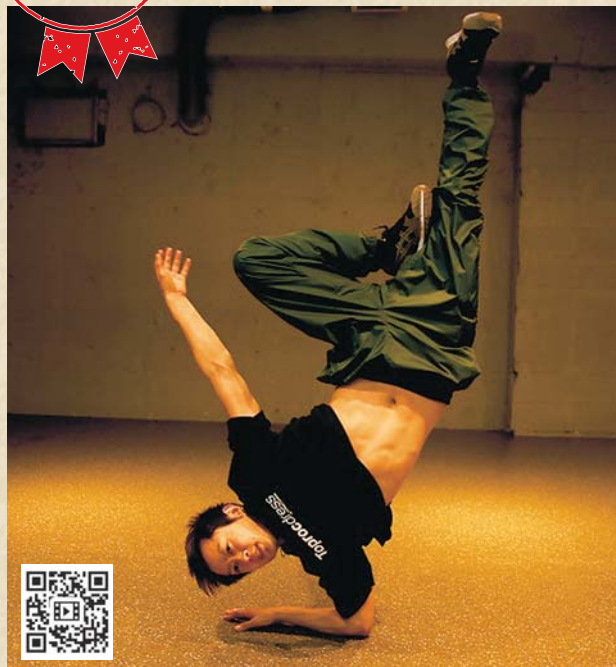




ブレイクダンスで世界一を目指す

QRマークのあるQRコードから動画が見られます。
市報 (Q広報動画)



ブレイクダンスチーム「ARIYA」所属
のむらすなお
野村直さん (東所沢在住)

2009年結成のブレイクダンスチーム「ARIYA」のメンバー。チームは現在、所沢市と千葉県流山市を拠点に10人で活動中。ブレイクダンス普及のためワークショップなども開催する。



音楽に合わせてステップを踏む足、手頭を使って回転する体。まるで重力を無視したかのような躍動感あふれる動きが特徴的なブレイクダンス。現在、ブレイクダンスは世界一のダンス人口を誇るジャンルで、2018年のユースオリンピックではダンススポーツ競技として正式決定しています。

そんなブレイクダンス界のワールドカップと呼ばれている世界大会 (UK B-BOY CHAMPIONSHIPS) に日本代表として初出場し、ベスト4に輝いたチーム「ARIYA」。世界で活躍するチームのメンバーの一人が、東所沢在住の野村直さんです。

「ブレイクダンスを始めたのは中学3年生のとき。テレビでブレイクダンスを踊っている人を見て、見よう見まねで始めたのがきっかけです。同級生と毎日練習して、1カ月後に技っぽいことができたときはうれしかったです」と、少しはにかみながら当時を振り返ります。

今までダンススクールなどに通うことなく、独学で練習してきた野村さん。「身近にブレイクダンスを学べる場所も、相手もいなかったの、インターネットの動画やストリートで出会った人の動きを見て学びました。常に手探り状態でしたね」。

地道に力をつけていった野村さんがARIYAに加入したのは2012年。「メンバー全員が『このチームで世界一を取る』と

いう高い目標を持っています。それだけに、自分の調子が悪いときはプレッシャーを感じることも。でも、メンバーがいるから頑張れるんです」。1人では苦しくても、同じ目標を持つ仲間がいるから乗り越えられる。チームで踊る魅力が伝わってきます。

実際のバトル (試合) の中でもチームで踊る魅力があると野村さんは教えてくれました。「チームバトルは、相手チームに身体能力が高い個人がいても、チームにしかできないルーティーン (合わせ技) で勝つことができるんです。一人では味わえない喜びがチームだからこそ味わえる。それがチームで踊るもう一つの魅力です」。

野村さんは、世界大会ベスト4の結果に満足していません。「世界一を目指していたので、負けた瞬間は正直悔しかったです。来年の世界大会に向けて、技術だけでなく、チーム内の役割など、力不足を感じた部分を強化していきたいです」。

チーム一丸となって世界一を目指す野村さんたち。彼らが世界の頂点を取る日は、きっと遠くないはずですよ。(取材:佐々木)

▶世界大会は各国の予選を勝ち抜いた55チームが出場
右写真:宇都宮修



今月のプレゼントクイズ!

会えたらラッキー! あの名物キャラクターグッズを当てよう
ラッキーパンダセット (1,110円相当×30人)
(ラッキーパンダうどん&ポストカード5枚&トートバッグ)



地 元密着の名物キャラクター・ラッキーパンダ (愛称ラッキー) グッズを豊富にそろえる(尙ぎふとるうむ山畑から特別セットが登場♪贈答用にも人気のラッキーパンダうどん、航空公園の四季とラッキーを描いたポストカード、特製トートバッグの3点セットです。



●尙ぎふとるうむ山畑
宮本町2-22-25
☎2925-0104

◆今月のクイズ

9・11・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると?

◆応募方法 (6月10日(土)締め切り・消印有効) 市報

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦6月号の感想を記入し、〒359-8501広報課に郵送・市報 (Qプレゼント) で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。

◆プレゼント提供事業者も募集中!

詳細は、市報 (Qプレゼント募集) をご覧ください。



読者感想文

- 5月号特集「狭山湖見つけたび」が面白かったです。近いけど案外知らない面白そうな場所があるんですね (緑町・40代女性)
- この時季にぴったりで良かったです。出掛ける気持ちが起きました (小手指・70代男性)
- 編集から●身近すぎて見逃しがちなイイところってありますよね。皆さんが「行ってみよう!」「やってみよう!」と思える記事を今後も掲載していきます。
- 表紙は以前のところんの写真がよかった。内容は季節のスポット紹介が楽しかった。来月以降も載せて欲しい (東所沢・30代男性)
- ひばりちゃんをもっと載せて欲しい (青葉台・50代男性)

い (青葉台・50代男性)
編集から●リニューアル以降、特集を読んでみたくなる表紙を採用しています。今後、ところんやひばりちゃんは紙面のいろいろな場所に登場していく予定です。ぜひ、探してみてください。

●うわさに聞いていたラッキーパンダ! 誕生の背景を知ることができて良かったです。どこかで出会えたらいいな (上新井・40代女性)
編集から●その名のとおり「会えたらラッキー」なラッキーパンダ。うわさによると市内のイベントにも出没する!?との情報も! イベントに行けば、いつの日か会えるかもしれません♪

編集後記

●今回、初めてブレイクダンスの歴史や試合のルールなどを知りました。話を聞けば聞くほど、目の前でダンスバトルを見てみたい気持ちが高まる一方...! いつの日か、野村さんたちのかっこいいダンスバトルを市内で見られる日が来るのを楽しみにしています (佐々木)



▲毎週水曜、所沢で練習!

●青空に泳ぐこいのぼり。見晴らす所沢の風景をバックに、響き渡る地域の音楽。ドレミの丘の音楽祭 (16面参照) で、地域のたくさんの笑顔に元気をもらいました。スタッフの連携にも敬服 (加賀谷)
●取材で少しだけ電気自動車に乗りました。走行中も車内が静かなのにビックリ! 環境にやさしく経済的な電気自動車のモニターを募集 (6面参照) していますので、気になる方はぜひご応募を (鹿島)